

## 地域密着型金融推進計画の進捗状況

(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

平成21年5月

遠軽信用金庫

当金庫の地域密着型金融（リレーションシップバンキング）は、金融庁の金融審議会報告書「地域密着型金融の取組みについての評価と今後の対応について 地域の情報集積を活用した持続可能なビジネスモデルの確立を 」において、恒久的な枠組みとして推進すべきとの提言がなされことを踏まえ、平成19年10月に、平成21年3月までを計画期間とする「地域密着型金融推進計画書」を策定、公表のうえ当該計画に掲げた取組みを推進してまいりました。

今般、当該計画の平成20年度における取組み状況を報告いたします。

### 1. 全体的な進捗状況

「地域密着型金融推進計画」の全体的な進捗状況は、3か年長期経営計画「えんしんルネッサンス2006～地域の豊かな未来づくりへの挑戦～」（18年4月～21年3月）の基本的方向性を踏まえ、継続的に推進してまいりましたことから、概ね計画どおりの取組みを実施できたと認識しております。

重点事項毎の取組み概要は、次のとおりであります。

#### (1) ライフスタイルに応じたお取引先企業の支援の一層の強化

お取引先企業の資金繰り支援などの経営支援活動を積極的に推進いたしました。とりわけ、公共工事の減少や原材料価格の高騰により、業況の悪化が予想される取引先を個別に訪問し、業況の把握や資金繰り支援などの活動を積極的に展開いたしました。

また、延滞中や条件緩和を希望しているお取引先に対しましては、ヒアリングを行い条件緩和について柔軟に対応いたしました。

#### (2) 事業価値を見極める融資手法をはじめお取引先企業に適した資金供給手法の徹底

担保及び保証に過度に依存しない融資スタンスについて「クレジットポリシー」に明記し、勉強会などにより周知徹底いたしました。

また、目利き力向上に向けた研修等への職員派遣を継続するなど人材育成にも努めました。

#### (3) 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

北見工業大学を核とする産学官連携推進会議に参加し、中小企業への具体的支援事例などの情報集積に努めましたほか、遠軽地方景況レポートなどの有用な経営情報の提供に努めました。

### 2. 進捗状況に対する評価

計画に掲げた取組みの実施状況は、総じて順調と評価しております。特に、公共工事の減少や原材料価格の高騰により、業況の悪化が予想されるお取引先は、4月に118先、11月に596先をそれぞれリストアップしたうえ、営業店長や融資担当役席者による訪問活動を展開し、業況の把握や資金繰りについて支援することができたものと評

価しております。

また、個人保証に過度に依存しない融資に関する取組みにつきましては、「クレジットポリシー」の浸透に努めたほか、キャッシュフローを重視する融資・審査スタンスを継続できたものと評価いたします。

なお、地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献につきましては、専門機関及び産学官金によるネットワークの強化を図りましたが、当該ネットワークを活用した具体的なサービスの提供には至っておりません。今後は、地域経済への貢献に向け、提供すべきサービス内容を検討する方針であります。

### 3．取組み状況の詳細

具体的な項目毎の取組み状況の詳細は、別添「地域密着型金融の取組み状況表（20年4月～21年3月）」及び「経営改善支援の取組み実績」のとおりであります。

## 地域密着型金融推進計画の取り組み状況表

（平成20年4月から平成21年3月）

項 目	取 組 み 状 況
<b>ライフサイクルに応じた取引企業の支援強化</b>	
<b>創業・新事業支援</b>	
<p>商工会議所、商工会と提携した創業資金融資制度の活用促進ネットワークを広げ、基盤地区の創業先等の資金ニーズにきめ細かく対応するものであり、創業支援資金「チャレンジ」は、商工会議所や商工会と提携して推進するものであります。</p>	<p>基盤地区の低調な経済環境を反映して、20年度の活用実績は、2件700万円の実績にとどまりました。</p> <p>創業が極めて少なく、資金ニーズが乏しい状況にあり、当該案件は限定的であります。商工会議所及び各商工会との連絡を一層密にし、創業資金「チャレンジ」の案件発掘に努める方針であります。また、21年度は、創業・新規事業支援に向けた助成金制度を構築する計画であります。</p>
<p>アパート創業及びメディカル開業などの融資支援 進出地区のお客様のニーズにあった資金提供に努めるものであり、アパート創業及びメディカル開業の融資支援は、ハウスメーカーや医療機器販売会社から情報を収集し、堅実な事業経営のノウハウについて提供を行うものであります。</p>	<p>アパート創業及びメディカル開業資金の支援実績は、アパートローン創業19件1,486百万円、メディカル創業1件30百万円でありました。</p> <p>アパートローンは、市場の低迷により、19年度に比較して件数は減少しましたが、金額は増加し、堅調であったと評価しております。また、メディカル開業については、情報が少なく、低調な実績となりましたが、今後も情報入手先であるベンダー企業との交流を深め、精度の高い情報入手に努める方針であります。</p>
<b>経営改善支援</b>	
<p>経営相談・支援業務の継続 厳しい地域経済環境を踏まえ、取引先企業の経営改善支援の取り組みを継続し、不良債権の増加抑制に努めるものであり、経営支援先を19先選定し、経営改善指導に努めるものであります。</p> <p>なお、経営改善支援方法の充実策として、1先を選定のうえ、「経営再生プラン」を実行中であります。</p>	<p>経営支援先に選定した19先のうち、20年度中にランクアップした先は6先でありました。なお、選定した19先のうち、破綻した先が1先、完済した先が1先でありました。</p> <p>21年度は、経営支援先を30先に増加するとともに、さらに充実した支援活動を行っていく方針であります。</p>
<p>貸出条件緩和への取り組み 平成20年11月7日の金融検査マニュアルの改訂に伴い中小企業の資金繰り逼迫や所得の減少に伴う返済負担率の増加に対応し、既存の貸出の条件変更などに柔軟に対応するものであり、延滞中、延滞気味及び条件緩和を要望している先等、条件緩和候補先をリストアップのうえ、債務者とヒアリングを行い、合理的で実現可能性の高い経営改善計画書を策定するなどにより、可能な限り貸出条件の変更に応じるものであります。</p>	<p>20年度中の貸出期限延長等条件緩和を行った貸出は、38件で2,436百万円でありました。</p> <p>21年度においても、引き続き条件緩和について柔軟に対応する方針であります。</p>
<p>資金繰り支援 公共工事の減少及び原材料価格高騰による原材料の値上がりを受け、業況悪化が予想される取引先をリストアップのうえ、営業店長又は、融資担当役員者が訪問し、業況把握を行い、資金繰り円滑化のための融資を検討</p>	<p>20年4月に全店で118先をリストアップのうえ訪問を実施し、資金ニーズがある先には、可能な限りの支援を実施しました。</p> <p>また、20年11月にも同様に596先をリストアップのうえ、訪問を実施しました。なお、支援の実施には、「緊急保証制度」等を有効に活用しました。</p>

項	目	取 組 み 状 況
	するものであります。	当面、地域経済は停滞すると思われることから、引き続き業況を把握し、資金繰り支援を実施していく方針であります。
<b>事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底</b>		
<b>不動産担保・個人保証に適度に依存しない融資への取組み</b>		
	<p>不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資 目利き力向上により債務者に過度な負担をかけない円滑な融資を行うものであり、平成20年7月「クレジットポリシー」の全面改正を行ない、「担保及び保証は、安易に又は過度に依存しない。」旨明記し、職員に対する勉強会を開催のうえ、周知徹底するものであります。</p>	<p>20年9月、地区別に「クレジットポリシー」の勉強会を実施しました。 継続して「クレジットポリシー」の勉強会を開催するとともに、不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資商品の開発を行う方針であります。</p>
<b>「目利き機能」の発揮に向けた取組み</b>		
	<p>目利き力向上に向けた人材教育 職員の審査能力向上を図り、中小企業金融に関する経営相談機能の拡充を目指すものであり、職員を目利き力養成講座等に派遣するものであります。</p>	<p>20年度中の目利き力養成講座への職員の派遣は、2名であります。 平成21年度においても計画的に同講座等への派遣を継続し、人材の育成に努めます。</p>
<b>地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献</b>		
<b>地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた同時的・一体的な「面」的再生への取組み</b>		
	<p>産学官金の連携強化による地域経済活性化に向けた多様なサービスの提供 地域金融機関として、ネットワークを広げ専門家、専門機関と連携し、地域経済の活性化に取り組むものであり、北見工業大学地域協同センター産学官連携推進員・協力員合同会議に出席し、情報の集積を図るものであります。</p>	<p>20年度は、北見工業大学地域協同センター産学官連携推進員・協力員合同会議に2回出席し、情報の集積を図りました。 21年度は、当該ネットワークを活用した具体的サービス提供の枠組みを構築する計画であります。</p>
<b>地域活性化につながる多様なサービス提供</b>		
	<p>遠軽地方景況レポートなどの有用な経営情報の提供 取引先企業への有用な経営情報の提供に努めるものであり、信金中央金庫が取りまとめる「中小企業景況レポート」と、当金庫が作成する「遠軽地方景況レポート」を調査対象先等へ配布するものであります。 また、「遠軽地方景況レポート」は、ホームページに公表します。</p>	<p>四半期毎に、「中小企業景況レポート」及び「遠軽地方景況レポート」を調査対象先等へ配布しました。 また、「遠軽地方景況レポート」については、ホームページに公表しました。 今後も「遠軽地方景況レポート」の内容充実にも努める方針であります。</p>

経営改善支援等の取り組み実績

【20年4月～21年3月】

(単位:先数)

(単位:%)

	期初 債務者数  A	うち 経営改善支 援取組み先 数	のうち期	のうち期	のうち再	経営改善 支援取組 み率  / A	ランクアッ プ率  /	再生計画 策定率  /
			末に債務者 区分がラン クアップした 先数	末に債務者 区分が変化 しなかった先 数	生計画を策 定した先数			
正常先	2,214	1		1	1	0.0%		100.0%
要 注 意 先	159	7	0	5	7	4.4%	0.0%	100.0%
破綻懸念先	13	4	0	4	4	30.8%	0.0%	100.0%
実質破綻先	16	1	1	0	1	6.3%	100.0%	100.0%
破綻先	7	0	0	0	0	0.0%	-	-
小計 (～の計)	203	18	6	10	18	8.9%	33.3%	100.0%
合計	2,417	19	6	11	19	0.8%	31.6%	100.0%

(注)・期初債務者数及び債務者区分は20年4月初時点ですべて整理。

・債務者数、経営改善支援取組み先は、取引先企業(個人事業主を含む。)であり、個人ローン、住宅ローンのみの先を含まない。

・には、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載。

なお、経営改善支援取組み先で期中に完済した債務者はに含めるもののに含めない。

・期初の債務者区分が「うち要管理先」であった先が期末に債務者区分が「うちその他要注意先」にランクアップした場合はに含める。

・期初に存在した債務者で期中に新たに「経営改善支援取組み先」に選定した債務者については(仮に選定時の債務者区分が期初の債務者区分と異なっていたとしても)期初の債務者区分に従って整理すること。

・期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含めない。

・には、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載。

・みなし正常先については正常先の債務者数に計上すること。

・「再生計画を策定した先数」=「中小企業再生支援協議会の再生計画策定先」+「RCCの支援決定先」+「金融機関独自の再生計画策定先」